

令和6年度 和歌山県自治会連合会との県政懇談会（要望・回答）

要望（有田川の河川整備等について）

有田川の河川整備につきましては、堤防整備、浚渫及び立木伐採と年々改修が進み改善が図られておりますが、未だ河川内には、土砂の堆積あるいは立木が目立つ状況でございます。

昨年6月の豪雨により、市内一円に被害をもたらした浸水被害のような災害を未然に予防するためにも浚渫や立木伐採を実施し、河川断面の狭まりを無くし川の流れが阻害される状況を少なくするのが大事であると考えますので、早期の改善をお願いします。

回答

洪水時の河川水位を下げるため、今年度も引き続き、保田大橋上流や宮原橋から有田東大橋の区間において、約3,700㎡の河道掘削や約12,000㎡の樹木伐採を予定しています。

今後も現地状況を注視しながら適切な維持管理に努めます。

要望（有田市内県道等の早期整備促進について）

県道有田港線において、交通事故に至るヒヤリハットが度々確認されております。問屋橋近辺から西側約200m区間において狭小な道路の拡張工事により、更なる交通事故防止が図られると考えておりますので、早期の改善をよろしく願いいたします。

回答

県道有田港線の問屋橋近辺から西側約200m区間については、南側は港湾区域と河川区域の重複区域となっており、有田箕島漁業協同組合が漁船の係留所として利用しており、南側への道路拡幅は困難であると考えます。一方、北側への拡幅については、人家が連坦しており、用地の取得の協力が得られるのであれば、市とも相談しながら現道対策について検討していきます。